

～横浜環状北線の概要～

横浜環状北線は、横浜市の交通ネットワークの骨格を形成する「横浜環状道路」の北側区間で、第三京浜道路港北インターチェンジから新横浜・菊名付近を経由し、高速神奈川1号横羽線生麦ジャンクションに接続する延長約8.2kmの自動車専用道路です。その構造は、家屋の移転を少なくし、周辺環境を保全するため全体の約7割をトンネル構造としています。

横浜環状北線の整備により、次のような効果が期待されます。

・広域的な交通利便性の向上

横羽線、湾岸線と第三京浜道路の連携が強化され、新横浜をはじめ羽田空港や東京湾アクアライン、金沢方面などへの行き来が便利になります。

・新横浜都心、京浜臨海部などの活性化

横浜港や京浜臨海部などの東京湾沿いの各拠点と内陸部との連絡が、また新横浜都心や港北ニュータウン、市北部の産業集積地などと都心部・臨海部との連絡が強化され、各拠点の一層の活性化に役立ちます。

・生活環境の改善

横浜環状北線及び出入口周辺等の街路の整備により、幹線道路の渋滞が緩和され、生活道路へ入り込んでいる通過交通や回交通が減少し、住宅地の安全性の向上が期待されます。

また、交通の流れがスムーズになり、車からの排出ガス量が減少し環境改善効果が見込まれます。

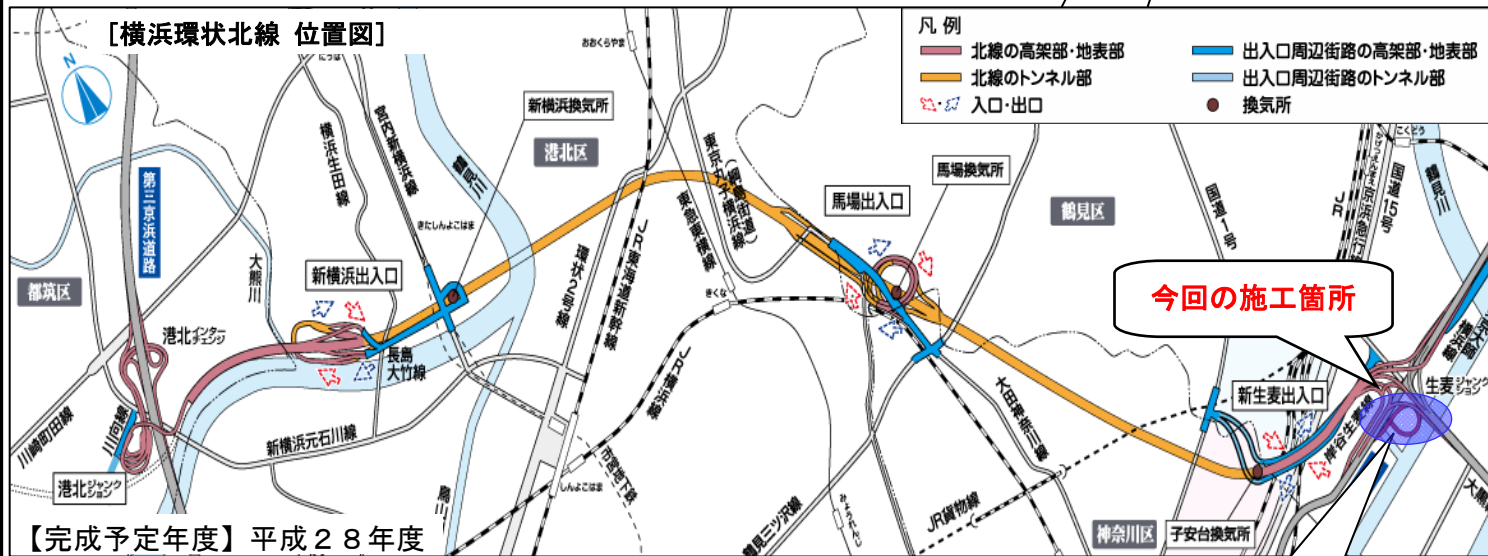
【横浜環状道路 位置図】



【横浜環状道路】

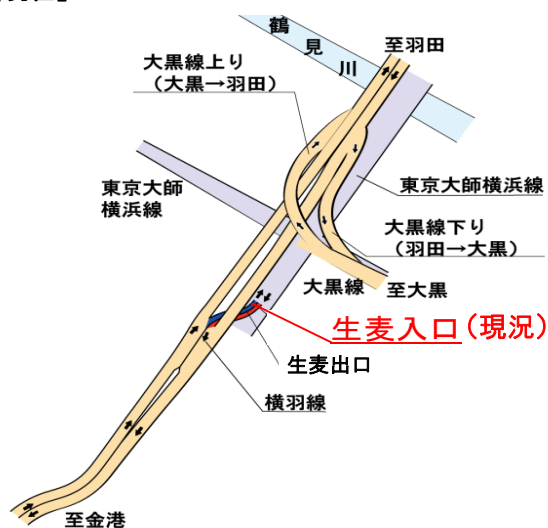
都心、副都心などのバランスある都市構造、広域的な交通体系との調和、効率的な自動車交通の処理などに対応するための横浜の都心から10～15kmに位置する自動車専用道路です。

【横浜環状北線 位置図】



【完成予定年度】平成28年度

【現在】



【将来】

